

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	多治見市地域住宅計画
②都道府県名	岐阜県
③計画作成主体	岐阜県多治見市
④計画期間	平成17年度～21年度
⑤計画の目標	『公営住宅の住環境整備、防災性能の向上を促進することにより、だれもが暮らしやすい住まいづくりを実現します。』 『デザイン・ガイドを作成することにより、今後の住宅の方向性を示し、「多治見らしい住まいとまち」を提案します。』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	多治見市において評価を行い確定（平成22年4月）
⑦事後評価の結果	<p>指標1：「公営住宅の高齢者向け住宅の供給戸数の割合」 定義：公営住宅における高齢者向け住宅の目標供給戸数（住宅マスタープランによる）に対する高齢者向けの住戸改善を実施した住戸の割合 評価方法：住宅マスタープランに掲げた目標戸数13戸に対する改良戸数 結果：従前値：0%（17年度）⇒目標値：23%（21年度）⇒実績値：30.7% 結果の分析：単年度の改良戸数を1戸から2戸に変更。平成19から20年度の2カ年で4戸を改良。当初は3戸の予定であったことから結果として目標値を上回ることとなった。</p> <p>指標2：「公営住宅のアスベスト対策を実施した住戸の割合」 定義：公営住宅において、アスベスト（パーミキュライト）含有建材が使用されている住戸に対する、対策を実施した住戸の割合 評価方法：アスベスト含有建材使用の確認された住戸126戸のうち対策を講じた戸数 結果：従前値：0%（17年度）⇒目標値：100%（21年度）⇒実績値：100% 結果の分析：アスベスト対策については、平成18年度及び21年度に処置を実施。該当住戸の全ての処置を完了した。</p> <p>指標3：「水洗化された住宅の割合」 定義：下水処理区域内における、水洗化した住戸の割合 評価方法：下水処理区域内の公営住宅817戸に対する水洗化の完了した戸数 結果：従前値：56.2%（17年度）⇒目標値：70.1%（21年度）⇒実績値：70.1% 結果の分析：下水処理区域内に存する旭ヶ丘第2・第3団地において水洗化事業を実施し、旭ヶ丘第2団地は全ての住戸の水洗化が完了した。旭ヶ丘第3団地については、29戸の水洗化し計画の目標70.1%（573戸）を達成した。同団地における未施工分については平成22年度以降に取り組む。</p>
⑧結果の公表方法	多治見市のインターネットにて公表を行うとともに、窓口にて閲覧可。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・住戸内のバリアフリー化のみでは、入居者の快適性は向上されないことから、平成22年度から始まる新計画（多治見市地域住宅計画（第Ⅱ期））においては、共用部分のバリアフリー化を実施する。 ・平成21年度にアスベスト対策事業と平行して市営旭ヶ丘第2団地内で進めた、吹付天井改良については、未完の状況であることから新計画においても継続して取り組み、平成22年度完了を予定している。 ・快適で衛生的な住まいづくりのため、市営旭ヶ丘第3団地における住戸の水洗化を新計画にて引き続き実施。平成23年度完了に向け取り組む。
⑩その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。